令和5年7月

**推薦書作成の留意点**

千葉地区柔道会

1. 講道館館員番号は講道館館員証を確認のうえ記載して下さい【推薦書記入例②】。
2. 昇段にあたっては、千葉地区柔道会昇段・級審査規定「５.試合成績と修行年限」を満たしていること（以下、抜粋）。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 昇段する段位 | 初段 | 二段 | 三段 |
| 評　定 | 無段における | 初段における | 二段における |
| 得点・年限 | 得点・年限 | 得点・年限 |
| 良 | 大会成績 | 6点以上 |
| 修行年限  | 1年以上 | 1年半以上 | 2年以上 |
| 可 | 大会成績 | 3点以上 |
| 修行年限  | 1年半以上 | 3年以上 | 4年以上 |

* 初段受験するにあたっては、一級・無段において、試合成績6点以上、修行年限（柔道を始めてから）1年以上【評定（良）】を満たしていること。
* 初段受験するにあたっては、一級・無段において、試合成績3点以上、修行年限（柔道を始めてから）1年半以上【評定（可）】を満たしていること。
* 二段受験するにあたっては、初段において、試合成績6点以上、初段昇段後1年半以上【評定（良）】を満たしていること。
* 二段受験するにあたっては、初段において、試合成績3点以上、初段昇段後3年以上【評定（可）】を満たしていること。
1. 入門・昇段年月日は講道館館員証で確認して下さい【推薦書記入例⑧】。
2. 「昇段後満年月日」欄、「年齢（○歳○月）」欄【推薦書記入例⑧】は千葉県柔道連盟審議会日付が**基準の日付**となります。**基準の日付は**当該千葉地区昇段・級審査会実施要項に記載してありますので、年月数を計算して下さい。
3. 現段位の推薦団体名欄【推薦書記入例⑨】は「二段以上受験者」が記載する欄です。

△△中学校・◇◇高等学校等の所属団体名は記載しません。「千葉県柔道連盟」等の都道府県連盟名を記載します（但し、東京都は「○○区柔道会」と記載〈二～四段受験者〉）。

1. 「試合成績」欄、「年（西暦）・月・日」・「大会名」は、同名の大会で同日に複数の試合を行った場合でも**「 〃 」は使用せず**、それぞれ記載して下さい【推薦書記入例⑫・⑬】。
2. 「試合結果」欄【推薦書記入例⑭】、**勝ち（○）と引き分け（×）のみ記載**して下さい。**負け（△）は記載しないで下さい。**
3. 外国籍の地区会員は、①国籍、②入国年月日を「その他特記事項」欄に記載して下さい【推薦書記入例⑮】。
4. 「その他特記事項」欄【推薦書記入例⑮】、以下文言を推薦書作成時にコピー＆ペーストして利用下さい。

○○○○年　全柔連公認●級ライセンス審判員資格取得

○○○○年　全柔連公認●指導員資格取得

1. 「柔道修行経歴」欄・「現在の修行状況」欄【推薦書記入例⑯・⑰】について、
* 幼稚園、小学校時から柔道修行を始めている方は、その旨も記載して下さい。

「（例）○○○○年○月より、◇◇少年柔道クラブに入会し、千葉太郎七段の指導を受け修行を始める」

* 師事した・している指導者の氏名・段位を必ず記載して下さい「（例）「福島英治七段の指導を受け修行を始める・修行する」」。
1. 「柔道修行経歴」欄【推薦書記入例⑯】、以下文言を推薦書作成時にコピー＆ペーストして利用下さい。

○○○○年４月、【所属】入会し、＜（指導者）姓□名＞●段の指導を受け修行を始める。○○○○年４月、【所属】中学校に入学と同時に柔道部に入部し、＜（指導者）姓□名＞●段の指導を受け修行する。○○○○年４月、【所属】高等学校に入学と同時に柔道部に入部し、＜（指導者）姓□名＞●段の指導を受け修行する。○○○○年４月、【所属】大学に入学と同時に柔道部に入部し、＜（指導者）姓□名＞●段の指導を受け修行し、現在に至る。

1. 「現在の修行状況」欄【推薦書記入例⑰】、以下文言を推薦書作成時にコピー＆ペーストして利用下さい。

【所属】中学校・高等学校柔道部で週○日各○時間程度、＜（指導者）姓□名＞●段の指導を受け、熱心に修行中である。

1. パソコンで表記できない漢字については、別途事務局まで連絡して下さい。
2. 推薦書は千葉県柔道連盟に印刷して送付しますので、Excelの「印刷範囲」を確認のうえ、千葉地区柔道会（審議担当）へ送信して下さい。
3. 講道館昇段証書の交付については、早くて昇段審査開催日時の3ヶ月後です。、

以上